

月刊きょうと教育通信

vol. 6 平成15年2月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

地域との連携のもと、「新しいタイプの学校運営」 についての実践研究を推進

本市では、今年度から、御所南小学校が文部科学省、高倉小学校が本市の「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究校」として、地域との連携のもと、「学校の裁量権の拡大」や「地域の学校運営への積極的な参画」などをテーマに、実践研究に取り組んでいます。

全国でも、市が独自に実践研究校を指定している例はなく、新たな教育の創造を目指し、両校で積極的な取組を推進しています。

<御所南小学校>

10月の「地域学校協議会」の発足以来、毎回多くの委員の出席のもと、活発な議論が行われています。

2月には、スポーツ活動やお菓子づくりなど様々な行事が予定されており、



着実に子どもたちのための取組を進めています。

今後、さらにこうした取組を推進するとともに、子どもたちに確かな力と豊かな心を育むため、新教科の設置など柔軟な教育課程の編成や、自主的・機能的な学校運営の在り方について検討します。

<高倉小学校>

1月29日「スマイル21プラン委員会」（地域学校協議会）が、地域・保護者代表、学識経験者、公募委員などにより発足しました。



今後、「教育課程」「学習指導」「学校運営」の3部会を中心に、2期制のもとでの伝統文化や地域の特色を生かした教育課程の編成、高学年での一部教科担当制の導入など、子どもたちに確かな学力の定着を図る教育活動や新たな学校開放の在り方などについて検討します。

ご意見・お問合せ＝教育計画課（222-3815）

京都御池中の建設にあたっての 提案書を梶本市長に提出



提案書を受け取る梶本頼兼市長

今年4月に開校し、18年4月に新築・移転する京都御池中中学校について、地元代表者やPTA等で構成される「京都御池中中学校設立推進委員会」は、1月17日、提案書を梶本頼兼市長に提出しました。

「提案書」は、新校舎に対する地元の期待や要望を取りまとめたもので、同校が「一人一人の子どもが輝き、地域の心がふれ合う、都心の安らぎと華やぎのシンボル」となるよう6項目の考え方を示しています。提案書を受け取った梶本市長は「提案をできる限り設計に盛り込み、皆様の期待にお応えしたい」と、建設に向けた決意を述べました。

ご意見・お問合せ＝学校統合推進室（371-2009）

<2月の主な予定>

- 1日 アラン・ケイ講演会と「未来への教室」in 京都
- 1日 第17回京都市小学校大文字駅伝大会開会式
- 4日 京都府 NIE セミナー（永松記念教育センター、事前申込み制、無料）
- 4日 第12回京都市道徳教育振興市民会議
- 8日 人づくりフォーラム（裏面・下段左を参照）
- 10日 音楽高校ミニコンサート（西文化会館、無料）
- 11日 第17回京都市小学校大文字駅伝大会（スタート：午前10時45分 衣笠小前・ゴール：岡崎公園野球場）
- 12～19日 郁文中学校二部学級生徒募集
- 15日 第34回部落解放研究京都市集会
- 19日 第2回21世紀型教育コンテンツ開発委員会
- 27日 第4回21世紀の「理科」を考える京都市民会議
- 下旬 市立高等学校生徒資格取得等表彰
- 下旬 京都市立学校文化芸術賞表彰

注 目

22日 京都市道徳教育フォーラム

「京都市道徳教育振興市民会議」は、広く市民の皆様と道徳教育について考える契機とするため、「京都からのしなやかな道徳教育の発信を」をテーマにフォーラムを開催します。午後1時～3時。永松記念教育センター大研修室。先着順400名。

「成人の日」を市民みんなで祝う取組が 市内の各所において展開

1月13日、京都市勧業館において、新成人の参加率・参加者数が過去最高の45.4%・8,535人となる、平成15年京都市成人の日記念式典を開催。市内16の青年団体の連合体である「ユース21京都」をはじめ、多くの方々の御協力により、厳粛な中にも温かみのある式典を実施することができました。式典では、新成人代表が「広い視野を持ち、生きることが全ての人々に平等である社会を創りたい」と述べ、新成人一人一人が「二十歳の決意」を新たにしました。

また、今年度、全国に先駆けて、市民みんなで成人の日を祝う気運づくりに向けた「はたちプロジェクト」を推進しています。

とりわけ、1月15日には「成人の日を支えてくれた若人の成人式」を開催し、消防士、警察官、成人式ボランティア、舞妓等47名が和やかな雰囲気の中、祝福されました。

さらに、地域の自治会や各種団体による成人の日を祝う取組が、新成人の母校で行われるなど、新成人がこれ



新成人代表が樹本頼兼市長に「二十歳の決意」を述べました。

までお世話になった方々に感謝の意を表すとともに、立派に成長した子どもたちの晴れの門出を祝う、心温まる素晴らしい取組が市内各所で展開されました。京都市では、地域での成人式など、19団体による成人の日の気運づくりを支えた、個性あふれる取組を1月28日に表彰しました。

今後も、市民みんなで祝う成人の日の取組を進めていきます。
ご意見・お問合せ＝社会教育課（222-3800）

2月8日 人づくりフォーラムを開催 河合隼雄代表と鈴木光司氏が対談



「21世紀の京都を担う子どもたちのために、今、大人として何をしなければならないか」を市民みんなで考え、行動する人づくり21世紀委員会の今年度の取組の集大成の場として「人づくりフォーラム」を開催します。

当日は、河合隼雄代表と、「リング」「らせん」「ループ」の著者であると同時に、文壇でも最強の子育てパパとして有名な鈴木光司氏の対談を行います。

また、第3回世界水フォーラムの開催を記念し、子どもたちが水をテーマとしたメッセージを発信するなど、多様なメニューを用意しており、参加者全員が一体となって、子どもたちの健やかな成長について考える場となります。

ご意見・お問合せ＝地域教育専門主事室（254-5007）

なんばあわん

カリキュラム開発支援センターの設置 (政令指定都市初)



昭和61年の開館当初から、教育センターとして、日本で初めて午後9時までの夜間開館を実施し、研修や自主的な研究等、年間延べ約14万人の教職員等に活用されている永松記念教育センター。同センターで約6万点の教育資料を所蔵している情報資料室を、平成15年4月にリニューアルし、政令指定都市で初めての「カリキュラム開発支援センター」を設置します。

これは、同センターの「京都市総合教育センター」への名称変更にあわせて実施。各学校における教育課程の編成、教育研究団体や教職員の自主的・自発的な研修・研究を積極的に支援するため、カリキュラム開発への助言や先進的実践例の紹介、教育情報の収集・提供を行う拠点として創設するものです。

今後、カリキュラム開発支援センターの設置を契機に、教職員の資質向上や学校教育活動への支援をさらに充実します。

ご意見・お問合せ＝永松記念教育センター（371-2340）